

令和6年度 学校評価(教職員の自己評価)

北杜市立長坂中学校

4段階評価 (4 : 良い 3 : おおむね良い 2 : どちらかといえば良くない 1 : 悪い)

全体平均 3.3 赤字は平均以下の数値

1 教育課程(学習指導等)について

- | | 平均 |
|---|-----|
| ① 個別指導やグループ別指導など、個に応じた指導を工夫している。(本年度努力点:確かな学力の育成に向けた授業改善) | 3.4 |
| ② 生徒の声を学校生活・行事に反映させている。(本年度努力点:生徒の自立力・自律力の育成) | 3.1 |
| ③ 知徳体の教育はバランス良く行われている。(学校経営の基本方針) | 3.2 |
| ④ 学校図書館の計画的利用や、タブレット端末を利用したの情報教育が推進されている。 | 3.2 |
| ⑤ 部活動など教育課程外の活動が適切に管理され、実施されている。 | 3.1 |

・部活動は大切な要素だと思いますが、数年前に比べて、ここ1~2年で教育課程とのバランスが取れてきたと思います。生徒の身体的な負担や、教員の負担を考えると、今年度の時間縮小は適切だったと思います。
・来年度の方針を決める際に、生徒の声はあまり反映されていないと感じます。
・複数顧問の部活のあり方に見直す必要性を感じる。

2 進路指導

- | | |
|---|-----|
| ⑥ キャリア教育(職場体験活動等)を通して、主体的に進路を選択する能力・態度の育成のための指導がなされている。
(本年度努力点:生徒の自立力・自律力の育成) | 3.3 |
|---|-----|

・進路説明会は必要だが、高校説明会などは各自で参加する方向になっていて良いと思います。生徒への個別の声かけや支援は必要だと思いますので、担任が生徒の適性や希望を把握しておくことが必要だと思います。

3 生徒指導

- | | |
|---|-----|
| ⑦ 「ステップルーム」の運営を始め、教職員全体として生徒理解・生徒指導に取り組んでいる。(本年度努力点:長期欠席生徒への対応) | 3.1 |
| ⑧ 問題行動(いじめも含む)への対応が迅速、適切になされている。 | 3.4 |

・ステップルーム、サポートルーム、保健室、それぞれに長所や適性があると思いますので、生徒の実態に合わせて利用するのが良いと思います。
・ステップルームの方針との食い違いやステップルームの方との意思疎通ができず、生徒対応が悪化したことがあった。
・ステップルームを活用することで、生徒が不登校にならずに、居場所として活用できたのはよかったと思う。一方で、ステップルームの生徒のようすがわかりにくかったり、保護者からも、「利用していてもどうなっているのかわからない」などの声も聞かれた。利用期間や情報共有の仕方も含め、運用の仕方は、再検討したほうが良いのではないかと。
・新しい取り組みとして「ステップルーム」の運営は大変な苦勞があったと思います。ただ、様子を見ることもあまりできないため、何がどうなされているかわからない部分も多々あった。

4 保健管理

- | | |
|---|-----|
| ⑨ 生徒を対象とする保健(薬物乱用防止、心のケア等を含む)に関する指導・相談が適切に行われている。 | 3.6 |
|---|-----|

・生徒の情報が保健室から学年・担任に速やかに提供されているので、歩調を合わせて対応することができていると思います。心のケアについては、保健室を頼ってきた生徒の気持ちを大切にして、担任・学年と相談して生徒の対応に当たれるようにと思いました。

5 安全管理（学校経営の基本方針）

- ⑩ 教育環境の整備に努め、生徒の安心安全が確保されている。

3.6

・職員室内の環境整備（西側の長机、棚、倉庫など）がきれいになっていて、使いやすくなっています。教室の環境整備を、各担任も含めしていきます。

6 特別支援教育（学校経営方針：特別支援教育の体制と充実）

- ⑪ 校内委員会の設置、校内研修の実施等、特別支援教育のための校内支援体制が整備されている。

3.4

- ⑫ 「サポートルームほくと」と連携した指導が行われている。

3.8

・サポートの先生方と共通理解が得られていると思いますが、保護者や本人の意思を今後も確認していきたいと思っています。生徒がよりよく伸びるための制度であることを、教員も保護者も理解していかなければいけないと思います。
・サポートルームできめ細やかにみていただいて、ありがたい。

7 組織・運営

- ⑬ 校務分掌や主任制等が適切に機能するなど、学校の明確な運営・責任体制が整備されている。

2.9

- ⑭ 職員会議等の各種会議が適切に運営されている

2.8

・資料を読まない人もいると思うので職員会議は時間がなくても最後までやったほうが良いと思う。細かいところで伝わってないところがある。校務分掌も苦労している先生がいると感じる。
・職員会議の時間が短すぎて、大事な『議論』ができなかったことがとても心残りです。
・職員会議は、事前に資料が配布されても、時間に追われている感が拭えない。時間延長しても大事なことはきちんと話し合うべきだと感じます。

8 研修

- ⑮ 校内研究を中心として今日的な教育課題に対応するための各種研修が適切に行われている。（目指す教師像）

3.4

意見なし

9 教育目標・学校評価（学校教育目標、グランドデザインとの関連）

- ⑯ 教育目標・重点項目が共通理解され、全教職員が特色ある学校づくりに励んでいる。

3.4

- ⑰ PDCAサイクルによる学校評価（教職員の自己評価）や学校関係者評価（生徒・保護者によるアンケート）が行われている。

3.4

意見なし

10 情報提供・管理

- ⑱ 保護者や地域住民を対象とした情報の提供が適切に行われている。

3.6

- ⑲ 各種文書や個人情報等の学校が保有する情報の管理が適切である。

3.5

・個人情報をしっかり管理していきたい。（机上整理など）

11 保護者、地域住民等との連携

- ⑳ 学校運営へのPTA、地域住民（学校運営協議会）の参画及び協力がされている。（本年度努力点：家庭・地域社会との連携）

3.5

- ㉑ 地域の自然や文化財、人材活用などの教育的資源の活用に努めている。（学校経営基本方針：原っぱ教育）

3.4

意見なし

12 教育環境の整備(学校経営の基本方針)

② 学校は、施設や設備を整え、教育環境を整備している。

3.5

③ 働き方改革(多忙化解消)に向けて取り組んでいる。(本年度努力点:生徒と向き合う時間の確保)

3.4

・働き方についての意識が大きく変わりました。
・帰るボードの設置など、見える化して取り組んでいて、良いと思います。
・インターバル制度の運用はとても大事だとは思いますが、もう少し弾力的にできないかと感じた。特に仕事が集まる時期は時間を気にせず作業に取り組みたいと感じた。
・「行事の精選」の面での働き方改革が進んでいると思います。
・様々な面でチャレンジの連続だったように感じます。次年度も、今年議論したことや決定したことを軸に、教育活動を行えるようにしたいです。
・担任や部活動主顧問の先生方の負担が少しでも軽くなるように努めました。保護者対応や、子どもの心に寄り添った対応は複雑多岐にわたるため学担の先生の負担は大きいと思います。少しでもサポートできるよう今後も声をかけていきたいと思っています。
・学年によって帰れる時間がかかなり異なっているため、公務分掌の見直しや職務の精選が必要であると感じる。
・生徒と向き合う時間の確保が必要
・だいぶ変わりました。
・社会情勢を鑑み、変化していく(させていく)ことを躊躇しない教師の心構えも大切だと思います。今は過渡期であり、働き方改革も様々な意見がある中で進んでいることも事実です。子どものために、という思いだけでは今後は続かないでしょうし、教師のなり手不足も改善されないと思います。教師が素晴らしい職業だと世の中の人に思ってもらえるように仕事をしていくことが求められていると思います。
・安全点検で出たところをいつも早急に直していただけてありがたい。働き方改革はいろいろな考え方があると思った。(土日に出勤したくないから平日に終わらせてしまいたいなど)
・働き方改革は組織全体を考えたときに必要なものだと思います。ある人にとってはできる業務内容でも、負担になる先生方がいることを忘れてはいけないと思っています。育児、介護などを抱えている先生方が業務の負担に耐えかねてしまうことを防ぐためにも、過剰な負担がかかる業務は見直すべきです。
・入試の事務処理や成績処理がある時期は、どうしても時間がかかります。さっと適当に行えばよいという性質のものではなく、ミスが許されない性質のものです。そのことも踏まえた取り組みをお願いしたいです。正直、勤務間インターバルは心身ともにストレスがかかり、生徒の将来にまで影響しかねないので、反対です。日によって、早く帰る日、仕事をする日、と自分で判断したいです。
・生徒数に比して、広い校舎と敷地で、掃除がとても大変ですが、全職員で生徒と一緒に取り組む姿勢が大切だと思います。毎朝、教頭先生が校舎内のゴミや埃を取ってくださっていてありがたいですが、自分自身の反省も含め、環境整備をきちんとしていきたいと思っています。
・自分自身の考え方も変えていかないと、この問題はなかなかいい方向へ進んでいかないと考えた。
・特にありません(2)

13 その他(お気づきのことがあればお書きください)

・働き方改革は組織全体を考えたときに必要なものだと思います。ある人にとってはできる業務内容でも、負担になる先生方がいることを忘れてはいけないと思っています。育児、介護などを抱えている先生方が業務の負担に耐えかねてしまうことを防ぐためにも、過剰な負担がかかる業務は見直すべきです。
・長い2学期でしたが、行事の一つ一つを成功させ、生徒にとって充実感を味わえる学期だったと思います。2学期末にインフルエンザが流行しましたが、皆で意識し、予防対策は適切にとれていたと思います。これからも、職員が一致団結して、進んでいけるとよいと思いました。お疲れさまでした。